

退任挨拶

前沖縄県医師会 常任理事
(医療法人安心会 愛聖クリニック) 中田 安彦



この度、県医師会理事を退任しました。

理事在任中は、初めは毎週火曜日夜に南風原町に通うことがとても苦行でした。しかし、県医師会の理事会での議論は大変勉強になりました。田名先生の災害医療の話と行動力、宮里先生の経験に裏打ちされた見識、稲田先生の世上のお話、大屋先生の幅広い見識、涌波先生の在宅医療、老人医療、介護保険に関する熱意、行動力、玉城先生のアイデアと行動力、比嘉先生の津梁ネットワークにかける情熱とITの知識、照屋先生のバランス感覚、平安先生の医療保険に対する鋭い感覚、砂川先生の地域医療、特に慢性腎臓病治療の面展開に対する意欲さらに、学術に対する真剣さ、徳永先生・白井先生の専門分野における真面目さ、熱意、見識の高さに目を見張りました。また久貝先生の県立病院勤務医の立ち位置からのとても有益な情報の数々、稲富先生の広報担当にかける真剣さ、毎週多数の議題を短時間にまとめる安里先生の議事進行能力、本当に勉強になりました。

理事の皆様には毎週の理事会以外に様々な委員会に出席して担当理事によっては自分のところの診療をする時間はあるのだろうかと思う程、多忙であったようです。本当に皆様お疲れさまでした。

私は地区医師会会長兼務とのことでかなり業務量は少なかったのですが、過剰適応するタイプの自分でも他の県医師会理事者の業務量は異常に多く感じました。理事者を支える医師会事務局の方々の仕事も膨大になってきていると思います。

医師の働き方改革も今年度から始まります。私生活を犠牲にして頑張っておられる理事者の仕事の棚卸を考える時期が来ているかもしれません。また、専門の理事者を設けたりすることも一考に値するかもしれません。

退任時に思いつくままに記させて頂きました。皆様、これからも元気に楽しくストレスなく医師会活動を続けて未来の子どもたちに胸を張れる医師会を築いて頂けるようお願いいたします。

